



令和3年11月22日  
令和3年度学校だより NO.33④  
加古川市立平荘小学校

## 両荘地区義務教育学校開校に向けて

11月15日（月）に、両荘中学校において、第5回両荘地区義務教育学校開校準備委員会（全体会）が開催されました。今回の会議では、施設検討部会及び学校運営検討部会からの経過報告等の説明がありました。

施設検討部会からは、新しい学校の設計がほぼ決定し、施設のレイアウトが提示されました。

学校運営検討部会からは、校名（案）と通学手段（スクールバスのコース案）についてと、校章及び校歌の募集（案）についての説明がありました。

校名につきましては、この全体会で6つの案から3つの案までしぼられました。あとは、市教育委員会・市議会で確定される予定です。詳細につきましては、市教育委員会が発行する「開校準備委員会だより」で公表されます。

校章と校歌につきましては、次年度検討していく予定です。

また、教育課程や学校行事、時程、制服等についても検討を進めています。特に、制服・体操服等の制定につきましては、12月中旬を目途に保護者の代表の方にも参加いただき、検討委員会を開催し、早急に決定したいと考えております。

保護者の皆様におかれましても、新しい学校に対する希望や不安も多いことと存じますが、ご質問やご意見等がございましたら、学校までお問い合わせいただきますようお願いいたします。教育委員会や各学校間で共有させていただきます。

今後とも、学校・家庭・地域が連携・協力して、子どもたちのための「両荘地区義務教育学校」開校に向けて取り組んでいきますので、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 狂言学習を進めています（6年生）

11月16日（火）に、6年生の子どもたちは、狂言の役割分担を行いました。演目は、「附子」「柿山伏」「猿唄」です。子どもたちは、気合を入れてこの日を迎えました。自分が希望するところを暗記してきた子もいました。やる気が伝わってきます。うれしいことです。

狂言開きでも、「狂言はリレー形式で演じていきます。自分だけが輝けばいいのではありません。」という話がありました。

8月に山口耕道先生にお会いした時にも、「狂言は、チームワークが必要です。狂言には笑いがありますが、笑いが起こるまでにはプロセスがあります。笑いまでの過程が大事なのです。笑いについて、その子だけが受けるのは違います。それぞれに役割があり、演じている人の心の内が見えるのです。」と教えていただきました。

11月29日（月）には、山口耕道先生を招聘して、初めてのご指導をいただきます。6年生の子どもたちは、11月29日に向けて今週も準備を進めていきます。

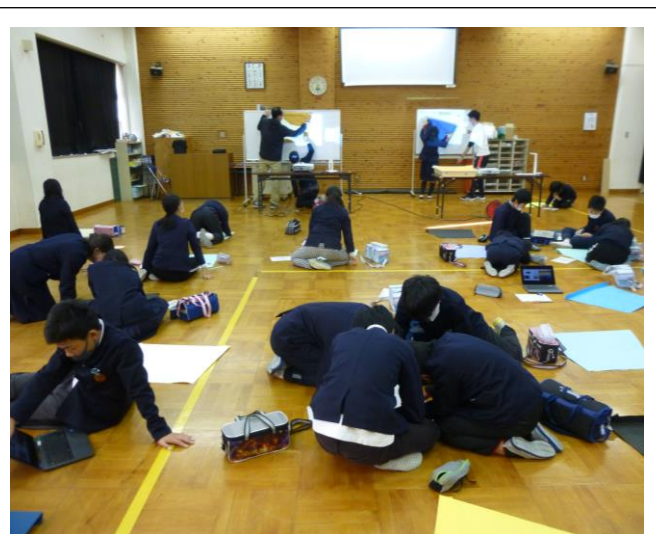


## 肩衣作りを進めています（6年生）

10月29日（金）から肩衣作りを進めています。今回は、肩衣の背中側の絵を制作しています。どの児童も思いを込めた絵になっています。



下書きをした書画カメラを使って拡大しています。



狂言発表会に向けて、一つ一つ手作りをしながら準備を進めています。2月17日（木）には、たくさんの思いが詰まった心温まる狂言発表会になることを期待しています。6年生のみなさん、有意義な時間を過ごしてください。

『しんどいことしたらええことあるで』という言葉があります。すぐには上手いかわなくても諦めずに努力をすることで、自分にとってきっといいことがあります。自分を信じて、そして仲間を信じて、平荘小学校の狂言学習を仕上げたいと思います。